

第1日目3月17日(月)

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
2F	第1会場 コンベンションホールB	開会式	1501m 日本学術会議機能医科学分科会 連携シンポジウム 「基礎医学研究から拓く次世代ヘルスケア」 上田 泰己 赤羽 雅美 南陽一 p.95	1PL01-1 プレナリー レクチャー 1 Donald E. Ingber p.68	1PL01-2 プレナリー レクチャー 2 Timothy A. Springer p.69		15L01-1 特別講演 1 Francesca Levi-Schaffer p.76	15L01-2 特別講演 2 Gerald W. Zamponi p.77	15L01-3 特別講演 3 藤本 豊士 p.78	15L01-4 特別講演 4 山本 靖則 p.79			
	第2会場 コンベンションホールA	1502m AMED-JST 連携領域 「マルチセンシング」シンポジウム： 末梢感覚器と中枢神経における情報統合 佐々木 拓哉 増山 武史 p.97	10:30	11:30	12:30	JAA 2024 年度 日本解剖学会奨励賞受賞講演 神野 尚三 p.90	E1E02 教育講演 1 原田 彰宏 p.86	JPS 第40 回日本薬理学会 学術奨励賞 受賞講演 富田 修平 p.91					
	第3会場 国際会議室	1503m AMED-CREST/PRIME 「ストレス」領域シンポジウム：ストレス研究の 新潮流：ストレス応答と形態形成メカニズムの解明へ 中村 和弘 増田 隆博 p.99				12:40	13:30	1503a AI と生命の協創が織りなす未来 和氣 弘明 中江 健 p.125	1503e 計算・データ資源時代の 数学と生物学 池谷 裕二 銅谷 賢治 p.149				
	第4会場 201-A	1504m 企業企画シンポジウム： 医薬品開発におけるヒトかん組織を 活用したトランスレーショナルリサーチ 市川 克臣 近藤 格 p.101			WHO による超低周波電磁界 の健康リスク評価 p.299	15L04 ランチョンセミナー 共催：(一)電気安全環境 研究所 電磁情報センター p.299	15E04-01 「クスリがわかる」シリーズ 講演「疼痛緩和」 濱田 祐輔 p.177	15E04-02 「クスリがわかる」シリーズ 講演「腎・泌尿器系」 齊藤 源顕 p.179	1PD04-01 科研究のあり方についての パネルディスカッション 髙橋 謙軒 p.151	1PD04-02 動物を用いる実験と研究の 日本における現状と展望 藤原 俊博 p.153			
	第5会場 201-B	1505m 圧刺激がもたらす生体の 恒常性維持と臨床応用 森松 賢順 山口 陽平 p.103			空間トランスクリプトーム 解析で迫る疾患研究 共催：関 CyberomiX p.299	15L05 ランチョン セミナー p.299	1505a 過酷な環境下での動物の 生理的応答と適応プロセス 山口 裕嗣 小野 大輔 p.127	1505e 暑熱順化の中枢機構。 腸内環境からヒトへの応用まで 大塚 唯一郎 石渡 貴之 p.155					
	第6会場 202	1006m 脳神経 I 杉山 清佳 守屋 孝洋				12:40	13:10	1006a 神経疾患 林 秀樹 毛利 彰宏	1006e 分子・細胞情報伝達 竹田 扇 富田 太一郎				
3F	第7会場 301-B	1507m サブセルラー神経生物学の新展開 川口 真也 神谷 温之 p.105				1MP07 Meet the Professors 1 池上 海 純 節 p.87	1507a 大動脈疾患の分子病態 解明と新たな予防・治療戦略 横山 詩子 吉岡 和晃 p.129	1507e 未来への展望： 機能形態融合が拓く生体階層 理解の新たな地平 東 泰孝 田頭 秀章 p.157					
	第8会場 301-A	1508m 生体機能の dynamic changeを担う シグナル系の多角的アプローチ 柿澤 昌 森口 茂樹 p.107			12:40	13:30	1508a Journal of Physiological Sciences 75 周年記念シンポジウム 堀田 晴美 富永 真琴 p.131	1508e 看護における 解剖・生理・薬理学教育 柳田 俊彦 黒岩 美枝 山口 豪 p.159					
	第9会場 302	1509m カタチを知る者は 病を制する 一脳神経病態の形態学的研究の最先端— 内ヶ島 基政 古田 貴寛 p.109			非侵襲代謝測定で迫る 冬眠の制御機構	15L09 ランチョンセミナー 共催：(有)アルシステム p.300	1509a 中枢神経疾患に対する 革新的アプローチ：診断から治療まで 吉川 雄朗 前川 素子 p.133	1509e 脳の機能解析デバイス 及び脳腫瘍治療デバイスの開発 梅村 将就 郭 媛元 p.161					
	第10会場 303	1510m Caシグナルイオン チャネルの仕組みと役割の新展開 岡村 康司 Byung-Chang Suh p.111			動物実験代替法に向けた in vitro 製品の紹介 共催：日機装株式会社/富士フィルム動物実験株式会社 p.300	15L10 ランチョン セミナー p.300 13:10	1510a イオンチャネルによる 生体恒常性の維持と破綻： 構造・機能・薬理学的解析から 中瀬古 (泉) 寛子 西谷 (中村) 友重 p.135	1510e 神経生理学の最前線： 運動制御における女性先駆者たち 伊澤 佳子 キャスリーン カレン p.163					
	第11会場 304	1511m アレルギーマーチと アトピー性皮膚炎 土井 雅津代 奈邊 健 p.113				15L11 「研究者の水漏れパイプ問題」 (男女共同参画企画) 西谷 友重 富田 修平 p.301	1511a 知覚を司る構造と 生体機能の解明 長内 康幸 中嶋 藍 p.137	1511e 疼痛の客観的解明に 向けた次世代研究 高山 晴規 丸山 健太 p.165					
	第12会場 101	1512m 細胞の形と機能を司る 生体膜のホメオスタシス制御と そこから迫る病態生理の新展開 大津 航 小純 純子 p.115			12:30	13:35	1512a ミトコンドリア・代謝研究 による精神神経疾患の病態機序理解 永井 裕崇 横田 睦美 p.139	1512e 治療的としての 一次織毛の可能性 西村 有平 斎藤 将樹 p.167					
1F	第13会場 102	1513m ミトコンドリアを みる・よむ・つくる ～新たな医療基盤技術の開発を目指して～ 加藤 百合 小川 亜希子 p.117				1513a マルチ？トランス？ 一階層のある生命システムを 分野横断的な技術開発で理解する 鈴木 団 杉 拓磨 p.141	1513e 解剖学・生理学・薬理学の 融合によるリンパ学研究的な展望 下田 浩 河合 佳子 p.169						
	第14会場 103	1514m ヒト組織による ヒューマンバイオロジーの新展開 諫田 泰成 月見 泰博 p.119				1514a 企業企画シンポジウム： 製薬企業各社の戦略的モダリティを 用いた研究開発の現状 山田 久陽 高橋 禎介 p.143	1514e 呼吸と循環のアロスタシス： 脳・身体相関の新たな視点 中村 望 小金澤 祐史 p.171						
	第15会場 104	1515m 経験・状態依存的な 行動変化を司る中枢・末梢 ダイナミクスとその破綻 野村 洋 戸田 知得 p.121				1515a 医科学と電気化学の 異分野協奏に向けて：現状・課題と展望 黒川 洵子 珠玖 仁 p.145	1515e 自己認識の分子機構と その功と罪 瀬川 勝盛 田口 友彦 p.173						
	第16会場 105	1516m 脳の発生・老化・病態を 操る「脳脊髄液と髄膜」 小西 博之 畠山 淳 p.123				1516a 時間分解能を高めた 疾患特異的分化細胞間統合解析とアンパイアスト リバーストランスレーショナルリサーチ 成田 年 加藤 隆弘 p.147	1516e ニコチン受容体を 介する生体機能制御における 末梢・中枢連関と治療薬開発 内匠 透 井上 剛 p.175						
	第17会場 ホール 8	1017m 脳神経 II 日置 寛之 山口 正洋					1YIA17a YIA 解剖グループ 1 榎本 秀樹 仲嶋 一範	1YIA17e YIA 薬理グループ 1 北西 卓磨 佐藤 元					
	第18会場 ホール 8	1018m グリア、神経生理・形態 揚妻 正和 板東 良雄					1YIA18a YIA 生理グループ 1 大槻 元 花田 礼子	1YIA18e YIA 解剖グループ 2 岡村 裕彦 松原 勲					
第19会場 ホール 8	1019m 感覚・運動機能 内田 さえ 小坂田 文隆					1019a 自律神経 茂木 正樹 森本 達也	1019e 細胞内シグナル、発生・再生 岡部 正隆 宝田 剛志						
展示会場 ホール 8	8:00 8:30	ポスター 貼付	10:20	ポスター 掲示		13:40	ポスター 掲示	15:30 15:40	17:30	17:40 18:40	17:00 19:00	ポスター 発表	学生と企業の マッチングイベント

【J】：日本語発表 【E】：英語 / 日本語発表

第2日目3月18日(火)

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
2F	第1会場 コンベンションホールB	25L01-1 特別講演 5 片桐 秀樹 p.80	25L01-2 特別講演 6 近藤 薫 p.81	2PL01-1 プレナリー レクチャー 3 森 和俊 p.70	2PL01-2 プレナリー レクチャー 4 月田 早智子 p.71		25L01-3 特別講演 7 瀧木 理 p.82	25L01-4 特別講演 8 岡村 直樹 p.83		JAA 総会				
	第2会場 コンベンションホールA	2502m 教育委員会合同教育プログラム モデル講義 2 神経系「体性感覚系」 山崎 美和子 小野 富三人 p.181		10:30	11:30	12:30	2502a 教育委員会 合同教育プログラム モデル講義「循環系「刺激伝導系」」 南沢 亨 黒川 洵子 p.209		16:40		JPS 学術評議員会・ 通常総会・名誉会員推戴式		18:00	
	第3会場 国際会議室	2503m 精神・神経疾患の 病態解明を目指した双方性 トランスレショナル研究 古屋 敦智之 深田 正紀 p.183			Korea-Japan friendship seminar p.302	2LS03 ランチョンセミナー *Hwang Yu Kim Satomi Kachi-Hakare		2503a ワンヘルスの実現を 見据えた喫煙のハームリダクション 西田 基宏 安西 尚彦 p.211		高校生発表・表彰式	PSJ 社員総会			
	第4会場 201-A	25E04-01 「クスリがわかる」シリーズ 講演「代謝・内分泌系」 安藤 仁 p.237	25E04-02 「クスリがわかる」シリーズ 講演「中枢神経系」 池谷 裕二 p.239		生命科学の極微で、 極美の世界へ p.303	2LS04 ランチョンセミナー *共催：日本電子(株)		2504a 3学会を取り巻く 研究倫理のトピック 千田 隆夫 神作 憲司 古屋 敦智之 p.213	15:40	16:40	ST01 Short talk 01			
	第5会場 201-B	2505m 体温調節からみる 生体恒常性と環境適応 内田 邦敏 片岡 直也 p.185			薬物依存性評価とデータの 多面的解釈 p.303	2LS05 ランチョンセミナー *共催：(株)新日本科学		2505a AI 駆動型・データ駆動型の 創薬と薬理研究 柚木 克之 山西 芳裕 p.215			ST02 Short talk 02			
	第6会場 202	2006m イオンチャンネル・受容体・ トランスポーター 曾我部 隆彰 竹内 綾子				12:40	13:30	PRP Physiological Reports Presentation Award 候補課題 池上 浩司 桐生 寿美子 竹内 裕子 横野 陽幸 久米 明 竹本 せやか			ST03 Short talk 03			
3F	第7会場 301-B	2507m 経世代的生物学 根本 崇宏 板谷 史郎 p.187				2MP07 Meet the Professors 2 石川 龍 松山 雅 p.88		2507a 領域横断的アプローチで 解き明かす低酸素応答システム —低酸素創薬への展望— 中山 恒 冨田 修平 p.217			ST04 Short talk 04			
	第8会場 301-A	2508m 日本発の学会誌を どう活性化していくか 竹田 扇 黒川 洵子 p.189				12:40	13:30	2508a Ca2+ 活性化 Cl- チャンネルによる小胞体カルシウム 遊離 - 平滑筋興奮関連 橋谷 光 Paolo Tammaro p.219			ST05 Short talk 05			
	第9会場 302	2509m 生命活動を支える 脳神経系の機能・構造・分子メカニズム 須田 悠紀 川畑 伊知郎 柏木 有太郎 p.191			蛍光寿命イメージングの有用性： 蛍光の分離、FRET、ハイオセセンサー、 超解像顕微鏡 STED p.304	2LS09 ランチョンセミナー *共催：ライカマイクロ システムズ(株)		2509a 神経イメージングの最先端 藤山 文乃 萩原 明 p.221			ST06 Short talk 06			
	第10会場 303	2510m Ca2+ シグナルが 生み出す多様な病態形成： 分子機構の解明と創薬への応用 鈴木 良明 Gerald Zamponi p.195			ヒト iPS 細胞由来の心筋細胞 の活用 共催：(株)ネクセル p.304	2LS10 ランチョン セミナー	13:30	2510a 温度感受性 TRP チャンネル研究の最前線 富永 真琴 城戸 瑞穂 p.223			ST07 Short talk 07			
	第11会場 304	2511m 疼痛研究の新展開： 痛覚システムから全身機能の理解 津田 誠 古江 秀昌 p.197			Volume EM; Explore with Hydra Bio plasma-FIB 藤「ターモグラフィ」p.305	2LS11 ランチョン セミナー		2511a 難聴克服を志向した 聴覚トランスレショナル 研究の最前線 上山 健彦 任書晃 p.225			ST08 Short talk 08			
	1F	第12会場 101	2512m オルガネラが織りなす 多彩な生理学 安藝 翔 志村 大輔 p.199				12:40	13:10	2512a 動的なミトコンドリアが 左右する細胞運命：機構理解と介入 宮田 暖 野口 雅史 p.227			ST09 Short talk 09		
第13会場 102		2513m 慢性腎臓病による 生体システム変容 寺脇 博之 安西 尚彦 p.201						2513a 炎症、疾患と代謝 大和田 祐二 丸山 貴司 p.229			ST10 Short talk 10			
第14会場 103		2514m 学変 A 「時間タンパク質学」： 概日リズムと季節応答の分子メカニズム 吉種 光 吉村 崇 p.203						2514a 小児医療の充実に向けた 産官学連携による取り組み 川岸 裕幸 村嶋 亜紀 p.231			ST11 Short talk 11			
第15会場 104		2515m 生体シグナル情報の定量化に基づく 多細胞間相互作用の構造的な理解 西田 基宏 今井 猛 p.205						2515a 学術変革領域 B 脳気学領域 シンポジウム：脳気をどのように理解するか 丹羽 康貴 坂本 雅行 p.233			ST12 Short talk 12			
第16会場 105		2516m 聴覚と認知症 中川 尚志 久場 博司 p.207						2516a 先端技術が切り拓く 解剖学・生理学・薬理学 千葉 彩乃 藤原 悠紀 服部 祐季 p.235			ST13 Short talk 13			
第17会場 ホール 8		2YIA17m YIA 生理グループ 2 井上 剛 木場 智史						2YIA17a YIA 解剖グループ 3 東 華岳 八木 秀司			ST14 Short talk 14			
第18会場 ホール 8	2YIA18m YIA 薬理グループ 2 椎名 典彦 名黒 功						2YIA18a YIA 薬理グループ 3 朝霧 成幸 佐藤 典弘			ST15 Short talk 15				
第19会場 ホール 8	2019m 軟骨、骨、筋 茶谷 昌宏 山澤 徳志子						2019a 肉眼解剖、筋 坂本 多穂 田口 徹			ST16 Short talk 16				
展示会場 ホール 8	8:00 8:30 ポスター 貼付	10:20 ポスター 掲示			10:30	12:30	13:40	15:30	15:40	16:40	17:00 ポスター 撤去		18:15	20:15

J: 日本語発表 E: 英語 / 日本語発表

第3日目 3月19日(水)

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
2F	第1会場 コンベンションホールB	3ML01-1 田原淳記念 レクチャー 當瀬規嗣 p.74	3ML01-2 萩原生長記念 レクチャー 浅原弘嗣 p.75	3PL01-1 プレナリー レクチャー5 森 泰生 p.72	3PL01-2 プレナリー レクチャー6 岡部 繁男 p.73		3SL01-1 特別講演 9 合田 裕紀子 p.84	3SL01-2 特別講演 10 村田 茂穂 p.85			優秀発表賞の 表彰式と閉会式			
	第2会場 コンベンションホールA	3S02m ヒトとヒト、異種生物、 そして環境との「共生」を考える 日比野 浩 赤羽 悟美 p.241		10:30	11:30	12:30		3S02a デジタル/エクスポーラム との異分野交流：生物-環境間 相互作用の包括的理解を目指して 西田 基宏 大野 伸彦 p.267		16:40	17:00			
	第3会場 国際会議室	3S03m 冬眠生物学： 能動的な低代謝-低体温の生理機構 榎木 亮介 砂川 玄志郎 p.243					3EL03 教育講演 2 上園 保仁 p.86	3S03a 薬理学・生理学・解剖学 教育における実習の果たす 役割について：実習は必要か？ 和田 孝一郎 茂木 正樹 p.269						
	第4会場 201-A	3S04m がん微小環境：治療戦略の多様性 梶井 栄一 石川 俊平 p.245				民間主導×最先端技術！レンズレス 顕微鏡で探る宇宙バイオ実験 共催：(株)IDDK	3LS04 ラフォー セミナー p.305	3SE04-01 「クスリがわかる」シリーズ 講演「循環器系」 高原 章 p.293	3SE04-02 「クスリがわかる」シリーズ 講演「呼吸器系」 植田 洋一郎 p.295					
	第5会場 201-B	3SP05-01 日本薬理学会100周年記念 博士研究奨励賞受賞講演会 川原 伊郎 交野 大祐 p.92	3SP05-02 JPS-ASCEPT lecture 橋本 均 p.297					3S05a 日内環境適応現象への 生理・解剖・薬理・栄養学からの アプローチ 池田 正明 田丸 輝也 p.271						
	第6会場 202	3O06m 消化器、呼吸器 志水 泰武 田嶋 公人						3O06a 内分泌、環境生理 志内 哲也 中田 正範						
3F	第7会場 301-B	3S07m 親密な相手との社会性 行動への分野横断的アプローチ 松本 信圭 横井 佐織 p.247				3MP07 Meet the Professors 3 西田 基宏 p.89	3S07a マイクロからマクロの 脳構造と脳機能を制御するグリア機能 小泉 修一 有園 美沙 p.273							
	第8会場 301-A	3S08m サステナブルな CST 実現 のための多角的アプローチ 岩崎 広英 北田 容章 p.249				12:40	13:30	3S08a 心筋・骨格筋・平滑筋 関連疾患の病態を探る・解く・護る 倉原 琳 首藤 剛 p.275						
	第9会場 302	3S09m 光生物学で切り込む生命現象 和氣 弘明 加藤 英明 p.251						3S09a 視覚系の神経計算： 細胞内コンパートメント演算から 視野間情報伝達まで 佐藤 達雄 Benucci Andrea p.277						
	第10会場 303	3S10m 細胞内シグナルによる イオンチャネル制御機構について 再考する：分子から生体機能へ 河合 高文 中島 則行 p.253						3S10a 動物の心を読む： 人工知能が変えていく未来の動物実験 村田 幸久 後藤 雅将 p.279						
	第11会場 304	3S11m 多様な痛みに関与する 中枢および末梢メカニズムの多角的解析 川畑 篤史 尾崎 紀之 p.255						3S11a リハビリテーション neuroscience 西村 幸男 関 和彦 p.281						
	第12会場 101	3S12m 最新のイメージング技術が 拓くメカノフィジオリジー研究 山本 希美子 高橋 賢 p.257						3S12a 形態学と生理学の インタープレイが奏でる、 β 細胞分化 とインスリン分泌制御メカニズムの新発見 西村 涉 三木 隆司 p.283						
	第13会場 102	3S13m 遺伝性腎臓病アルポート 症候群の基礎と臨床 甲斐 広文 野津 寛大 p.259						3S13a 多角的視点から 解き明かすベータド・ホルモンの 多彩な役割と新たな展開 長谷川 和哉 中倉 敬 p.285						
	第14会場 103	3S14m 天然資源から グローバルヘルスを目指す アカデミア発創薬イノベーション 東田 千尋 久保山 友晴 p.261						3S14a ストレス関連疾患の 新規治療標的の探索 出山 諭司 篠原 亮太 p.287						
	第15会場 104	3S15m 疾患代謝産物の 代謝制御とその医療応用 西田 基宏 魏 范研 p.263						3S15a GPCR 研究の多階層 クロストークから創薬を考える 椎村 祐樹 山下 哲 p.289						
	1F	第16会場 105	3S16m 運動発達の神経生理基盤 吉田 さちね 中井 信裕 p.265						3S16a 不可逆的な生命 プロセスへの反抗 片野坂 友紀 矢木 宏裕 p.291					
第17会場 ホール 8		3O17m 体液、循環、免疫反応 梅村 将就 横山 詩子						3O17a 医薬品、創薬 合田 光寛 座間味 義人						
第18会場 ホール 8		3O18m 心臓、脈管 大野 美紀子 徳留 健						3O18a 病態生理、デジタル医学 川岸 裕幸 諫田 泰成						
第19会場 ホール 8		3O19m 泌尿器、腎、排尿、生殖 表原 拓也 吉江 幹浩						3O19a 免疫、炎症、感染、その他 佐藤 洋美 村山 正宜						
展示会場 ホール 8	8:00 8:30 ポスター 貼付		10:20	ポスター 掲示		13:40	ポスター 掲示		15:40	16:40	17:00	ポスター 発表	ポスター 撤去	

■：日本語発表 □：英語 / 日本語発表